

学校を休む時の目安

この情報一覧は一般的なガイダンスとなっております。医療的な質問がある場合はかかりつけの医師にご相談ください。

症状	通学する	学校を休む
熱	解熱剤を摂取していない状態で、華氏100度未満の体温を24時間維持している。	24時間以内に華氏100度以上の発熱があった。
下痢	24時間以内に、水様便が1回ある、もしくははない。	24時間以内に、2回以上の水様便があった。
嘔吐	24時間以内に嘔吐しなかった。	24時間以内に嘔吐した。
目	目のかゆみがあるが、赤み、目やに、ただれがない。	目の赤み、ただれ、目やに、かゆみ、痛み、光に敏感、または視力の変化がある。
咳/鼻水	少し咳と鼻水が出るものの、熱がなく、本人が咳をする際に口元を覆うこと、鼻をかむこと、手を洗うことができる。	授業を受けることができないほど症状が深刻。熱がある、または咳をする際に口元を覆うこと、鼻をかむこと、手を洗うことができない。
湿疹	湿疹がただれていない、または感染しないもの。熱がなく、かゆみが授業を受ける再のさまたげにならない程度である。	かゆみが酷く常に気にかかる。熱がありかゆみが深刻である、もしくはは湿疹が感染するもしくははただれている。
喘息	症状が制御されており、本人がいつ大人に助けを求めるべきかを把握している、または学校の喘息への対処プランに登録されておりそのプランに従うことができる。	症状がうまく制御されていない。本人がいつ助けを求めるべきかを判断することができず、学校の喘息への対処プランに登録していない。

さらに情報をご希望の場合は以下にご連絡ください：

インディアナ州保健省 主任看護師コンサルタント ディアナ・パダック dpaddack@isdh.IN.gov

インディアナ州教育省 学生健康サービススペシャリスト ジョリーン・ブラカーレ
JBracale@doe.in.gov

インディアナ州教育省 州出席職員 リサ・トゥルーット LTruitt1@doe.in.gov